

◆ グリーンセンター建設計画について ◆

令和4年度当初予算(案)の主要な施策項目を見てみますと、その4つの柱のうちの「IV 新たな価値を生み出すまち」の3に「グリーンセンター建設推進」として位置づけられており、新グリーンセンターを核としたまちづくりについての構想とともに建設に必要となる施設整備基本計画等の策定、また、建設候補地へのアクセス道路の整備を行うにあたり、必要となる対策等について検討に要する経費として9,542万円が計上されており、本格的に各種業務を進めていくという決意の表れであると感じ、現環境清美工場の老朽化の現状を鑑みますと、一日でも早い新施設の建設が待ち望まれる状況にあり、市民全体で考えていくことが必要であると考えています。

現時点においては広域化を前提に候補地を七条地区に選定して、地元との話し合い等を行っていると感じますがなかなか進捗していない状況でもあります。

一日でも早い新施設の建設を実現するためには、あらゆる可能性を考えていくことが必要であり、現候補地(七条地区)での建設および現地での建て替えにおける課題について市長に質問したところ、現地での建て替えが困難である理由については現施設の移転を主旨とした公害調停が大きな壁となっており、また、現候補地(七条地区)での建設を進めていく上で課題となっていることについては、用地確保のための地権者の同意、さらに建設候補地の地元及び周辺住民の皆様へ一定のご理解を得ることも必要であり、そのためには交通渋滞、環境・景観面での影響、洪水浸水に対する懸念等、住民の皆さまの不安を払拭すること、その上でグリーンセンターを核とした将来のまちづくりについて提案し、住民の皆様と話し合っていくことが課題解決につながっていくと考えている。

また、「負のイメージ」を払拭する対策としては、例えば、余熱利用によるハウス栽培や植物工場、6次産業化による観光分野への展開など地域の雇用にも繋がる取り組みが考えられ、まずは先進都市の最新施設の視察等を行い、実際に体感して頂くことで従来のイメージを一新することもできるものと考えているとの答弁でした。

新グリーンセンター建設については、市民全員が考えなければならない問題であり、地域住民の合意が何よりも大事です。

市長は、七条地区ですすめるとの答弁でありましたが、七条地区にも交通渋滞や景観、洪水浸水と調停の第2条という大きな問題、課題は山積みです。

いずれにしても地域住民の合意がなければ進まない話だと思しますので、全ての可能性を排除せず、市長自ら先頭に立って、1日も早い建設に向けてリーダーシップを発揮していただくことを要望いたしました。



◆ 新型コロナウイルスワクチン接種 ◆

介護老人福祉施設等の巡回施設内接種は、クラスター発生を予防するためにも早期実施が必要であり、施設関係者にどのように周知し、どのような対策をとっているのかとの質問に対し、施設職員関係者向け説明会を開催するとともに、施設における接種券の集約に時間を要することから、接種券なしでの接種を可能とするなど、円滑に接種が進むように施設側とのきめ細かな調整を行っているとの答弁でした。

また小児接種はどのように進めるのか、本市では接種を推進する姿勢なのか、市長の考えを質問したところ小児接種を受けることのメリット・デメリットを、被接種者とその保護者に対して適切に情報提供していくことで、各家庭における接種を受けることについての検討材料とし、不安や疑問点を解消したうえでご予約いただきたいと考えているとの答弁でした。ワクチン接種に関しては、何らかの理由により1,2回目の接種がまだの方がおられ、その方から接種を希望しているが、申込方法がわからず予約が取れないのご意見もいただいております。ホームページなどでわかりやすい告知説明をしていただければ幸いです。

